

教科書：数学Ⅰ（数研出版） 数学Ⅱ（数研出版） 数学A（数研出版） 数学B（数研出版）

副教材：メジアン数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B（数研出版）

学習目標

本校の数学科の目標・・・「活用し、深め、生かそう」

- ・内容のつながりを重視し、学習単元を並び替えた教育課程のもと、基礎的・基本的な知識や技能をしっかりと身につけ、数学的な思考力・判断力を育てましょう。
- ・数学的な思考力・判断力を育てるために、言葉や数、式、図、表、グラフなどを適切に用いて問題を解決したり、自分の考え方をわかりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合うことができるようになりましょう。
- ・数学のよさを知り、数学が生活に役立つことや科学技術と関係などの理解を深め、自分の生活に生かしていくことを考えられるよう心がけましょう。

第6学年の目標

- ・国公立文系や数Ⅲの不要な私立理系など大学入学共通テスト、一般入試において数Ⅰ・数A・数Ⅱ・数Bを受験する者を対象とする。記述試験において合格点が取れることを目標とする。このため、基礎事項を復習し、演習を行い、得点力の向上を目指す。

学習方法

- ・①例題・check・A問題の＊を予習として解き、入試問題の基本的事項の理解度の確認をする。
- ・②授業内において入試問題をじっくり考え、自分自身で解ききる力を養う。
(自由な発想を大切にするため、無地のノートを活用することが望ましい)
- ・③毎回の授業後の復習に時間をかけること。青チャート等を活用して類題を解き、理解度を高める。

評価の観点・方法

観点①関心・意欲・態度	入試問題を積極的に解こうとする。				
観点②数学的な見方や考え方	発展的な入試問題を工夫して解こうとする。				
観点③数学的な技能	公式や定理を活用して、入試問題を解ける技能を身に付けている。				
観点④知識・理解	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳの基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。				
	評価の方法\観点	①	②	③	④
	授業状況の観察	○	○	○	○
	課題の提出	◎	○	○	○
	定期考査の成績		◎	◎	◎

学習内容

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	基礎基本を確認し、演習力を養う。	数学Ⅰ 4. 関数とグラフ 5. 最大・最小(1) 6. 最大・最小(2) 7. 2次方程式の理論 8. 種々の方程式の問題 9. 不等式の種々の問題 10. 式の値、二項定理 11. 等式・不等式の証明 12. 集合と論証 数学A 13. 約数と倍数 14. 不定方程式 15. 整数の種々の問題 16. 場合の数、順列 17. 組合せ 18. 確率(1) 19. 確率(2) 数学Ⅱ 22. 点と直線 23. 曲線と直線 24. 軌跡と領域 25. 図形の式と種々の問題 26. 三角比と三角形 27. 図形と計量 28. 三角関数(1) 29. 三角関数(2) 30. 指数・対数の計算 31. 指数・対数の種々の問題 32. 導関数、接線 33. 関数の増減・極値 34. 最大・最小(微分法) 35. 方程式・不等式への応用 36. 積分の計算 37. 定積分で表された関数 38. 面積(1) 39. 面積(2) 数学B 40. ベクトルの基本 41. ベクトルと内積 42. ベクトルと平面図形(1) 43. ベクトルと平面図形(2) 44. ベクトルと空間図形 45. 等差数列・等比数列 46. 種々の数列 47. 漸化式と数列 48. 数学的帰納法 49. 数列の応用	
2 学 期	演習力を養う。	入試問題演習	
3 学 期	演習力を養う。	入試問題演習	

学習のアドバイス

大学入試問題に取り組むうえで大切なことは、

- ① まず、自分で解いてみることです。実際に解けなくても構いません。自力解決の過程で、教科書、問題集、参考書を参考にすることで、自分の知識を整理することができます。
- ② 大学入試問題には、典型的な問題が数多くみられます。それらの解法を身につけるためには、同じ問題であっても繰り返し解くことが必要です。
- ③ 各問題について、解答の流れを筋道立てて構成することができるようになりましょう。解答を丸ごと暗記するのではなくて、なぜそのように解くとよいのかについて考えるようにしましょう。